

須恵

2012
180号
FEBRUARY

平成24年2月3日発行

発行・編集責任者／議長 三角良人 所在地／〒811-2193 須恵町大字須恵771番地 TEL／092(932)1151(内線411 議会事務局) FAX／092(933)6579

なんば しょうと? 第3回

地域の特色

守母神社大祭

須恵町の地域の特色や伝統行事
等を紹介しつゝ。そこで今回は、
“守母神社大祭”ってなんばしょうと?



ほこら 祠内に奉納されている土人形



貝野 勝是 さん

御手洗 昇 さん

黒木 久行 さん

甲植木区の道林寺住職の貝野さん、総代の御手洗さん、世話役の黒木さんにお話を伺いました。
守母神社は昭和の森公園の奥、大谷池の頭にあり、高鳥居城主の嫡子の乳母であった「天眼慈照禪尼守母大菩薩」を祀っています。
大祭は毎年4月23〜24日に行われています。

由来

高鳥居城「岳城」には、哀しい古い伝説があります。
時は天文20年9月のこと、高鳥居城が反逆に遭い落城となります。
城主には幼き男の子がおり、その子を守るべく乳母に菩提寺である植木霊樹山道林寺の和尚に託すよう命を授けます。
そこへ向かう夜道、敵に追われ大谷の岩陰に潜んでいました。



ほこら 御神体の前に建てられた祠

すると眠っていた幼君が無心に泣き声を発してしまい、その声を聞いた敵に発見され討たれてしまいました。
乳母は「私が幼君の夜泣きをさせなければ無事に道林寺まで逃れたのに」と悲憤の涙にくれました。
そして「私はこの地で果ても必ずや万民の母となつて幼君を守り、夜泣きは絶対にさせない」と誓い息絶えました。
その後、植木村の住民たちが浄財を持ちより、乳母が幼君を抱いて隠れていた岩を御神体としてその前に祠を建て、非業な最後を遂げた乳母の霊を「守母様」と称して「育児・夜泣き止めの神様」と大切にお祀りして今日に至っています。

編集後記

取材で、守母伝説を語っていただいた。須恵町に語り継がれる歴史の口マンというには哀しい物語だ。
そして、現在進行形の物語が東日本大震災だ。間もなく1年を迎える。あの日、震源から遠い九州の大地は揺れなかったのだが、人の心は激しく揺れた。
また春が巡ってくる。震災1年を期に復興を加速させねばならないとの想いに駆られる。
そして、未曾有の災難を乗り越えて日本人が強くなった、たくましくなったと誇れるように、未来に語り継いでいきたいものだ。
悲劇の物語ではなく、人間の強さを示す不屈の物語として。
直接には揺れなかったこの須恵町だが、まずは自分の心の揺れを抑えて。
田ノ上 真

12月定例会 主要内容

9,628万円 平成23年度一般会計補正予算を可決! **2▶**

ここが聞きたい (一般質問) **4▶**

なんばしょうと? (守母神社大祭) **12▶**